

「第46回 日本緑化工学会大会」案内 (第3回)

第46回日本緑化工学会大会運営委員長 阿部 和時

「第46回日本緑化工学会大会」を下記の通り開催いたします。多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

1. 大会概要

(1) 日程

2015年9月26日(土)

- 10:00~12:00 理事会 (1号館4F/148講義室)
- 12:00~13:00 評議員会 (1号館4F/148講義室)
- 13:15~14:45 総会・学会賞授賞式 (1号館4F/141講義室)
- 15:00~17:00 合同研究集会 (1号館4F/141講義室)
- 17:30~19:30 懇親会 (キャンパス内・食堂棟3階懇親会場)

- 10:00~17:30 受付 (1号館1F/入口ホール)
- 10:00~17:30 資材・工法展示 (1号館4F/144講義室)
- 10:00~17:30 書店 (1号館4F/ホール)
- 10:00~17:30 休息室 (1号館4F/143講義室)
- 12:00~17:30 ポスター貼付 (1号館4F/145・146・147講義室)

2015年9月27日(日)

- 9:00~12:30 論文・技術報告 口頭発表 (1号館4F/141・142講義室)
- 12:30~13:30 編集委員会 (1号館4F/148講義室)
- 13:30~15:30 論文ポスターセッション (1号館4F/145講義室)
- 13:30~15:30 技術報告ポスターセッション (1号館4F/146講義室)
- 13:30~15:30 研究交流発表会ポスターセッション (1号館4F/147講義室)
- 15:40~16:00 ポスター授賞式 (1号館4F/141講義室)

- 8:30~15:00 受付 ((1号館1F/入口ホール)
- 8:30~15:00 資材・工法展示 (1号館4F/144講義室)
- 8:30~15:00 書店 (1号館4F/ホール)
- 8:30~15:00 休息室 (1号館4F/143講義室)
- 8:30~12:00 ポスター貼付 (1号館4F/145・146・147講義室)
- 15:00~16:00 ポスター撤去 (1号館4F/145・146・147講義室)

2015年9月28日(月)

9:15~16:00 現地見学会(よこはま動物園ズーラシア&横浜市繁殖センター見学)

集合場所:よこはま動物園ズーラシア入口前

集合時間:9:15 厳守

(2) 会場

日本大学生物資源科学部（神奈川県藤沢市亀井野 1866）

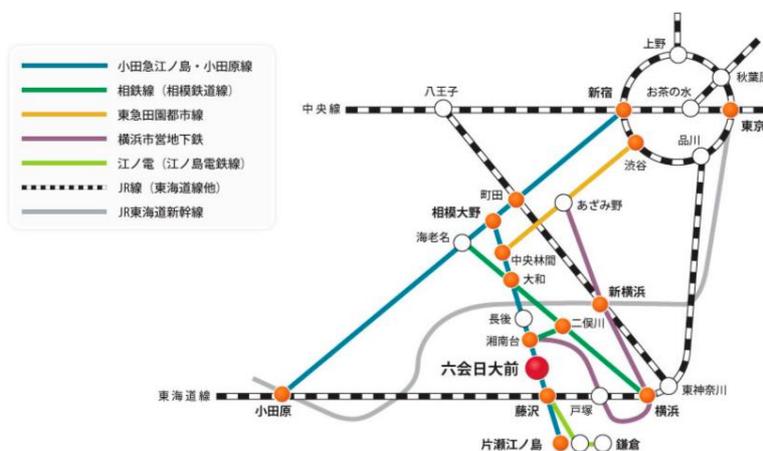
★ キャンパスマップ



会場は1号館（図中の13番の建物）の4階です。正門は02番付近です。

ホームページ (http://www.brs.nihon-u.ac.jp/campus_life/campus_map.html) でもご覧になれます。

★ アクセスマップ



最寄駅は小田急江ノ島線の「六会日大前（むつあいいちだいまえ）」です。各駅停車しか止まりませんので注意してください。駅から会場の1号館まで徒歩で10分程です。駅改札口を出たら右手に進み、左手の階段を下りて線路沿いを進んでください。2つ目の門が正門です。正門から入って斜め右手方向に1号館があります。

詳細は学部ホームページ (http://www.brs.nihon-u.ac.jp/access_map.html) をご覧ください。

★ ホテル

最寄りのホテルは小田急江ノ島線沿いの湘南台駅、大和駅、相模大野駅、町田駅周辺等にあり、JR線沿いだと藤沢駅、戸塚駅、横浜駅周辺等に多くあります。

2. 参加申込方法・参加費

	正会員	学生会員	非会員
大会参加(当日)	5,000 円	1,500 円	7,000 円
懇親会(当日)	5,000 円	2,000 円	5,000 円
現地見学会(当日)	4,000 円	3,000 円	4,000 円

※ 前納受付は2015年8月28日で終了しました。

(1) 参加費

非会員の大会参加費には資料代（日本緑化工学会誌 41 巻 1 号）が含まれています。必要に応じて別途ご購入下さい。

(2) 前納受付された方へ

参加当日、受付にて「前納済み」とお伝えください。

3. 大会プログラム

9月26日(土)		8:00	10:00	12:00	14:00	16:00	18:00	20:00
1号館講義室	141				総会等	合同研究集会		
	142							
	143				休憩室			
	144				資材・工法展示			
	145				ポスター貼付(論文)			
	146				ポスター貼付(技術報告)			
	147				ポスター貼付(研究交流発表)			
	148				理事会	評議委員会		
	149				事務局			
	4階ホール				書店			
1号館入口				受付				
食堂棟							懇親会	
9月27日(日)		8:00	10:00	12:00	14:00	16:00	18:00	20:00
1号館講義室	141							
	142				口頭発表 ①			※
	143				口頭発表 ②			
	144				休憩室			
	145				資材・工法展示			
	146				ポスター貼付(論文)		ポスターセッション	
	147				ポスター貼付(技術報告)		ポスターセッション	
	148				ポスター貼付(研究交流発表)		ポスターセッション	
	149				事務局			
	4階ホール				書店			
1号館入口				受付			※: ポスター賞授賞式	
9月28日(月)		8:00	10:00	12:00	14:00	16:00	18:00	20:00
現地見学会					よこはま動物園ズーラシア等(9:15現地集合)			

4. 研究発表会（論文・技術報告）

■論文・技術報告 口頭発表① 9月27日（日）9：00～12：30（発表12分、質疑応答3分）

◇ 場所：1号館4階 141講義室

No.	タイトル	著者	時間
O-01-A	模擬海水に水没後の土壌の冠水環境がヌマスギ(<i>Taxodium distichum</i> (L.) Rich.)とクロマツ(<i>Pinus thumbergii</i> Parl.)苗木の生存と成長におよぼす影響	沖田総一郎・半澤綾菜・坂口未紗・井上美那・山本福壽・山中典和・岩永史子	9:00
O-02-A	沼沢地に植栽されたヌマスギ(<i>Taxodium distichum</i>)の成長、構造および冠水適応能	半澤綾菜・沖田総一郎・坂口未紗・立石麻紀子・山本福壽・岩永史子	9:15
O-03-A	砂移動にともなう埋砂と退砂が小葉楊(<i>Populus simonii</i>)の生理・成長におよぼす影響	山本福壽・藤原佳奈・谷口武士・毛恵平・山中典和	9:30
O-04-A	ヤギの放牧が竹林皆伐跡地の植生変化に与える影響	石田 仁・黒米皓次・八代田真人・土井 和也	9:45
O-05-A	チガヤ草地内のギャップサイズが在来種植栽個体の生育に及ぼす影響—生育型に着目して—	安部真生・山田晋・根本正之・大黒俊哉	10:00
O-06-A	森林の樹冠構造がヒートアイランド現象緩和機能に及ぼす影響	加藤 顕・沖津優麻・常松展充・本條 毅・小林達明・市橋 新	10:15
	(休息 15分)		
O-07-A	都市化に伴う周辺環境の変化が帯広市大山緑地の自然湿地林の乾燥化に与えた影響	芦澤 満・辻 修・宗岡寿美・木村賢人	10:45
O-08-A	中国地方の市街地におけるシダ類の種組成と気候要因との関係	村上 健太郎・森本 幸裕	11:00
O-09-A	京都市近郊部における農村土地利用の連続度と鳥類生息との関わりについて	濱田 梓・福井 亘・水島 真	11:15
O-10-A	津波で攪乱された海岸林内の根返り跡に成立した湿地植生と微環境特性	岡 浩平・平吹喜彦	11:30
O-11-A	都市域成熟林でのアラカシ(<i>Quercus glauca</i> Thunb.), シラカシ(<i>Quercus myrsinaefolia</i> BLUME)の成長に対する初期サイズ、周辺競争個体の影響	田端敬三・橋本啓史・森本幸裕	11:45
O-12-T	緑地の生物多様性を評価する一手法について	趙 賢一・佐藤 力・森野敏彰・織戸明子・番場和徳・山野秀規・加藤貴子・山本紀久	12:00
O-13-T	第二京阪道路の沿道整備と鳥類分布との関わりについて	寺田 真幸・福井 亘・宮本 脩詩	12:15

■論文・技術報告 口頭発表② 9月27日(日) 9:00~12:30 (発表12分、質疑応答3分)

◇ 場所: 1号館4階 142講義室

No.	タイトル	著者	時間
O-14-A	UAVによる高解像度画像を用いた津波被災海岸林の実態把握	大澤啓志・泉岳樹・七海絵里香・石川幹子	9:00
O-15-A	小型UAVによる空撮とSfMを用いた樹高計測	田村太彦・加藤 顕・小花和宏之・吉田俊也	9:15
O-16-A	林床処理を行った二次林と畑地の放射性セシウムの土壌吸着様式	齋藤 翔・小林達明・高橋輝昌・山本理恵・平野亮将	9:30
O-17-A	SET*, PMVを用いたバルコニー部における緑のカーテンの温熱環境改善効果	鈴木弘孝・加藤真司・桑沢保夫・藤田茂	9:45
O-18-A	ライシメーター法とポロメーター法を用いた単葉からの実大樹木蒸散量推定の可能性の検討	手代木 純・柳 雅之・内田 大貴	10:00
O-19-A	自然配植技術による植栽後約20年を経過した法面の林分構造-周辺自然林との類似性-	榊原菜々・長島啓子・嵩田知帆・高田研一・田中和博	10:15
	(休息 15分)		
O-20-A	中・四国および近畿地方における自然侵入促進工の植生遷移に関する研究	中村 剛・谷口伸二・坂巻 央・藤原宣夫	10:45
O-21-T	施工後18年を経過した階段金網植生工の植生および根系調査	奥野倫太郎・沓澤 武・池田昌義・山田 守	11:00
O-22-T	種子を散布しないのり面緑化工法の事後調査について	山田 充・佐藤 厚子・林 憲裕	11:15
O-23-T	種子飛散シミュレーションを用いた緑化手法及びゾーニングの検討	森 千夏・中島 龍児・石井 剛・井野 友彰・大野 亮一	11:30
O-24-T	広島県三次市で実施した法面におけるニホンジカ被害防止工法の試験工事	宮田 亮司・細川 暁由・山田 守	11:45
O-25-T	泥炭ののり面緑化基盤材としての有効性検討	佐藤厚子・山田 充・村田陽子・林 憲裕	12:00
O-26-T	木片コンクリート緑化技術による石炭灰を利用した防潮堤のり面保護の実証試験	十河潔司・杉本英夫	12:15

■論文・技術報告 ポスターセッション①(論文) 9月27日(日) 13:30~15:30

◇ 場所: 1号館4階 145講義室 / コアタイム (※13:30~14:30、※※14:30~15:30)

No.	タイトル	著者	時間
P-01-A	複数の耐塩性指標による観賞植物3種の評価とその生理的機構の分類	斎藤宏二郎・黒沼尊紀・金谷健至・渡辺均	(※)
P-02-A	国内に流通している緑化用テイカカズラ類(<i>Trachelospermum</i> Lem.)種苗のPCR-RFLP法による識別	上町あずさ・福井 亘	(※※)
P-03-A	オンラインアンケートによる都市緑地における利用行動と近隣住民の社会的状況との関連性 -東京都江東区を事例として	大塚芳嵩*1)・那須 守2)・渡部陽介3)・高岡由紀子・岩崎 寛	(※)
P-04-A	中国における砂丘緑化用灌木 <i>Caragana korshinskii</i> Kom.(樟条)の種子サイズと発芽後の成長および乾燥耐性	佐井敏・増田達志・原鋭次郎・山中典和・衣笠利彦	(※※)
P-05-A	沼津千本浜におけるカワラナデシコ(<i>Dianthus superbus</i> L. var. <i>longicalycinus</i> (Maxim.) Williams)の生育立地特性	新井恵璃子・大澤啓志・七海絵里香	(※)
P-06-A	中国半乾燥地の固定砂丘上における <i>Artemisia ordosica</i> Krasch.群落の構造に <i>Juniperus sabina</i> Lと土壌表層の環境条件が与える影響	松本哲也・三木直子・廣部 宗・張 国盛・王 林和・吉川 賢	(※※)
P-07-A	復元型ピオトープ「いのちの森」に生育する林床植生の変化	叶 志浩・村上 健太郎・森本 幸裕	(※)
P-08-A	塩ストレスがウラルカンゾウ(<i>Glycyrrhiza uralensis</i> Fischer ex Candolle) 1年生苗の成長と生理に及ぼす影響	岡村怜美・山本福壽・西原英治・谷口武士・山中典和	(※※)
P-09-A	鳥取砂丘における海浜植物5種のアーバスキュラー菌根共生とグロマリン様タンパク質蓄積	由澤敏樹・山中典和・谷口武士	(※)
P-10-A	海水による土壌冠水が東日本太平洋沿岸域に分布する木本植物17種の生育に及ぼす影響	井上美那・香口成美・立石麻紀子・谷口武士・山本福壽・山中典和	(※※)
P-11-A	稲副産物を活用した酸化マグネシウム改良土が植物生長へ与える影響	島本由麻・鈴木哲也・森井俊広	(※)
P-12-A	中国内モン自治区クブチ砂漠に植栽されたヤナギ科樹木3種の生存、生理および成長	和泉瑠伽・谷口武士・毛恵平・山本福壽・山中典和	(※※)
P-13-A	低木樹種2種の根系による崩壊防止力の検討	山瀬敬太郎・藤堂千景・平野恭弘	(※)
P-14-A	年輪解析による落葉広葉樹二次林の成立過程の推定	臼田麻純・牧本卓史・赤路康朗・廣部 宗・坂本圭児	(※※)

■論文・技術報告 ポスターセッション② (技術報告) 9月27日(日) 13:30~15:30

◇ 場所: 1号館4階 146講義室 / コアタイム (※13:30~14:30、※※14:30~15:30)

No.	タイトル	著者	時間
P-01-T	津波被害を軽減するための海岸林の造成	全 権雨・徐 正一・松本淳一・土居幹治・ 稲本亮平・江崎次夫・河野修一	(※)
P-02-T	北海道羅臼地域治山緑化における自生植物の使用事例と使用方法の検討	福田尚人・鈴木克哉	(※※)
P-03-T	タケ及びびくらがチップを活用した土壌改良材の施用効果	河野修一・江崎次夫・稲本亮平・松本淳一・ 土居幹治・金 錫宇・全 権雨	(※)
P-04-T	火山性荒廃地における東京クレセントロール工法の治山緑化機能の評価	菊池輝海・上條隆志・小川泰浩・岡部宏秋・ 石森良房	(※※)
P-05-T	堆肥原料となる剪定枝の樹種が堆肥化特性に及ぼす影響	高橋 輝昌・西尾 太寿・石井 匡志・荻野 淳司	(※)
P-06-T	オフィスにおける植物の設置が勤務者の心理に及ぼす影響	岩崎 寛・菊池典子・大塚芳嵩・山田隆介・ 中村 勝	(※※)
P-07-T	生態系の物質循環特性に基づく緑地の持続性の評価手法に関する検討	松本文・高橋輝昌・宮脇侑子	(※)
P-08-T	関東地域における建物緑化の自生種率評価	加藤真司・鈴木弘孝・藤田 茂	(※※)
P-09-T	バーコードシステムを利用した種子撒き出し実験における発芽個体の効率的追跡調査方法(投稿時変更)	山田徳美・山田晋	(※)
P-10-T	京北地域におけるため池の植生状況と環境要因との関係について	藤川さつ紀・福井亘・水島真	(※※)
P-11-T	石積棚田の生態学的位置づけ—植物の侵入特性と生物多様性—	内田泰三	(※)
P-12-T	堰堤建設による溪流の環境変化が水生昆虫に与える影響	國分美華子・田中夏子・榮 結以・掛谷亮 太・野澤佳司・村津 匠・瀧澤英紀・小坂泉・ 阿部和時	(※※)
P-13-T	瀬戸内海中部沿岸域における海浜植物の希少性評価	戎谷 遵・二神良太・岡 浩平	(※)
P-14-T	埋立地の植栽林におけるキンラン(<i>Cephalanthera falcata</i> (Thunb.) Blume.)の野外播種試験法による繁殖の試み	伊藤彩乃・庄司顕則・松本竹吾・赤崎洋哉・ 海道智文・松澤宏・山崎旬・遊川知久	(※※)
P-15-T	異なる水深条件におけるヒシモドキ(<i>Trapella sinensis</i> Oliver)の移植と定着	田崎 冬記・内田 泰三・丸山 純孝	(※)

5. 研究交流発表会 ポスターセッション

■9月27日(日) 13:30~15:30

◇ 場所: 1号館4階 147講義室 / コアタイム (※13:30~14:30、※※14:30~15:30)

No.	タイトル	著者	時間
研交01	コナラの萌芽更新株の樹液流測定	竹内真一・北平祐樹・下田穂絵・藤巻晴行	(※)
研交02	ヒートレシオ法、グラニエ法、HFD法によるシダレモミジの樹液流測定と根 鉢秤量法によるキャリブレーション	竹内真一・杉尾良隆・飯田真一	(※※)
研交03	ヒートレシオ法による熱帯果樹マンゴーの蒸散量算定	竹内真一・坪井秀斗・下田穂絵・藤巻晴行	(※)
研交04	ハマエンドウの分布に与える根粒菌の影響	長田美保・戎谷遼・越智まどか・岡浩平	(※※)
研交05	胸高直径を用いたヒノキ水平根量の推定	佐橋潤・逢坂興宏・土屋智・今泉文寿	(※)
研交06	緑に関わるNPO・福祉事業者・教育機関の連携による里山保全の仕組み作りと自生種による緑化の取組み	黒田貴綱・松本 朗・田代幸代・黒崎弘平・島田正文	(※※)
研交07	湛水型調整池の緑化と湿生・抽水・浮葉植物の変遷	辻 盛生・米沢あゆみ・鈴木正貴	(※)
研交08	オフィスにおける植物設置が勤務者の心理に与える影響―業種による違いに関する一考察	平野琴子・大塚芳嵩・中村 勝・岩崎 寛	(※※)
研交09	壁面緑化事例にみる生育・利用特性に関する課題点の抽出	岡田隼人	(※)
研交10	施工後35年が経過した緑化地における木本群落回復の定量的評価	堀田佳那・石井弘明・佐々木剛・土井直子・東若菜・小宅由似・今西純一・吉田博宣	(※※)
研交11	表土マット移植工法を用いた緑化法面の施工12年後の植生回復状況	小宅由似・今西純一・堀田佳那・東 若菜・田中伸一・石原一哉・柴田昌三	(※)
研交12	林床管理が10年異なった2つの植樹林における林床植生の種組成 -大規模都市公園「帯広の森」を事例として-	宮崎直美・平田昌弘・日月伸	(※※)
研交13	街路樹構造の違いが都市の生物多様性に及ぼす影響	古野正章	(※)
研交14	隠岐郡西ノ島の切土法面における希少種トウテイランの生育特性	戎谷遼・中村凌・岡浩平	(※※)
研交15	大三島山火事跡地における航空実播(播種)工のその後の状況	西田泰弘・竹波信宏・全 権雨・金 錫宇・河野修一・江崎次夫	(※)
研交16	笠松山山火事跡地の復旧状況	全 権雨・徐 正一・西田泰弘・竹波信宏・松本淳一・土居幹治・河野修一・江崎次夫	(※※)
研交17	ヒノキ苗木を用いた山腹崩壊地の緑化	河野修一・江崎次夫・村上尚哉・寺岡平和・越智慎吾・兵頭充祥・二宮亮平・西田泰弘・竹波信宏・松本淳一・土居幹治・全 権雨・金 錫宇	(※)
研交18	クラゲテップとクラゲシート活用する海岸砂地の緑化	全 権雨・徐 正一・松本淳一・土居幹治・川瀬至道・浅野美穂・河野修一・江崎次夫	(※※)
研交19	史跡地内におけるオンツツジの移植	江崎次夫・河野修一・高山 剛・亀澤一平・日平治男・谷 清・村尾良男・伊勢屋重一・松本淳一・土居幹治・川瀬至道・浅野美穂・金 錫宇・全 権雨	(※)
研交20	盛土実験斜面における植生の推移	河野修一・江崎次夫・徐 正一・全 権雨	(※※)
研交21	緩和ケア病棟におけるスタッフステーション緑化の現状	何 莉・岩崎 寛	(※)
研交22	異なる環境条件下におけるブナ科実生の初期成長	大熊 紗織・高木 正博	(※※)
研交23	土壌の発達程度の指標としての土壌微生物バイオマスの検討	古澤仁美・平井敬三・石塚成宏	(※)
研交24	河川堤防に繁茂する侵略的外来種セイバンモロコシの抑制技術の検討	山根明・佐藤千芳・内田泰三	(※※)
研交25	リルに設置した東京クレセントロール(ToCR)の地表滞留機能の検証	小川泰浩・菊池輝海・上條隆志・岡部宏秋・石森良房	(※)

6. 合同研究集会

文書未定（文書が完成次第連絡いたします。）

7. 現地見学会

「動物園の最新緑化技術：よこはま動物園ズーラシア&横浜市繁殖センター見学」

主旨： 動物園は、来訪者に見せるとともに学ぶことを目的とした「生物多様性の生態展示」を行うための環境教育・研究施設です。そこでは、来訪者に対する動物だけでなく彼らの生息空間（ハビタット）の見せ方として緑が重要な役割を担うとともに、飼育動物の環境エンリッチメントの面からも緑の扱いが一つのポイントになっています。一方で、多数の来園者の利用圧に対する緑化植物の処方も求められます。

本大会現地見学会では、開催地（日本大学生物資源科学部：神奈川県藤沢市）の近くにあり、今日の我が国の生態展示を牽引する動物園の一つである「よこはま動物園ズーラシア」および園内にある希少野生動物の飼育・繁殖等の先端研究施設「横浜市繁殖センター」（通常は非公開施設）を訪れ、現地スタッフの案内の下、環境教育施設と緑化工、展示飼育動物と緑化工、希少動物保護と緑化工（自然再生）との関わりについて学ぶ機会としたいと考えています。主な視点は以下の通りですので、奮ってのご参加を期待します（なお、ズーラシアは1999年の部分開園から始まり、この2015年4月に「アフリカのサバンナ」ゾーンが全面オープンし、ズーラシアの全エリアが完成したばかりです）。

- ① 気候区に応じたゾーニングを始めとする、よこはま動物園ズーラシアでの生態展示での生息空間創出における考え方と緑化技術
- ② 展示飼育動物の環境エンリッチメントの視点からの緑化の在り方
- ③ 飼育下繁殖による生息域外保全と生息域内保全との相互補完による希少野生動物の個体群保全

日時 2015年9月28日（月）9:15～16:00 頃（現地集合、現地解散）

場所 よこはま動物園ズーラシア&横浜市繁殖センター

集合 相鉄線 鶴ヶ峰駅・三ツ境駅、JR 横浜線 中山駅の各駅からのズーラシア行きバス終点「よこはま動物園」下車、よこはま動物園ズーラシア入口前に9:15までに集合

料金 正会員・一般 2,000円、学生会員 1,500円、（入場券、昼食付き）

定員 25名

※ 定員に満たない場合、大会受付で26、27日に受け付けいたします。

9. 大会運営委員会

第46回日本緑化工学会大会運営委員会

委員長：阿部和時

委員：葉山嘉一、大澤啓志、藤崎健一郎、小島仁志、黒田綱貴、瀧澤英紀、園原和夏、中野裕司、田中賢治、森 千夏

〒252-0880 藤沢市亀井野 1866 番地

日本大学生物資源科学部 森林資源科学科 森林環境保全学研究室

TEL：0466-84-3674（森林環境保全学研究室） FAX：0466-80-1135

e-mail：ryokkakou46@gmail.com

その他

学内の食堂について：土曜日は営業いたしますが、日曜日は営業いたしませんので各自昼食の用意をお願いいたします。大学周辺に食堂はありません。

大学内の駐車場はわずかしかありませんので、自家用車でのご来場はお控えください。